

2026.6.29

# epi.1 クレア派遣通信



## 「フランスの自治体、 ヴァルドワーズ県庁を訪れました」

みなさん、こんにちは。私は、令和8年4月から一般財団法人自治体国際化協会（クレア）パリ事務所にて勤務している鎌田慎也です。

クレアは、日本の自治体の国際化支援を目的とする自治体の共同組織で、日本と海外7か国に事務所があります。

現在、パリ事務所では、私のように日本の自治体から派遣されている職員のほか、総務省からの派遣職員と現地職員の合計15名が働いています。主な事業は、日本の自治体の外交戦略や日本企業の海外展開を目的とした活動支援・情報収集と分析、展示会等の出展、日仏自治体交流会議や海外自治体幹部交流協力セミナーを含む自治体間交流の推進、ニュースレター等での発信、JETプログラム※1による国際交流です。

5月22日、フランスのイル＝ド＝フランス地方北部に位置するヴァルドワーズ県（V a l d' O i s e）の県庁舎を訪問しました（写真①）。

まるで大学のキャンパスのようなモダンな建物で、広々とした空間・敷地が印象的でした（写真②、③）。執務室は個人部屋があり、広々とした空間に自然光が差し込む会議スペースもありました。壁には、職員同士の写真やその月に誕生日を迎える職員の名前が掲示されており、組織としての一体感や職員間の距離の近さを感じられました。庁舎内には、職員用のトレーニングルームや気軽に談笑できるリクリエーションルームなども整備されていました（写真④、⑤、⑥）。



①ヴァルドワーズ県庁舎  
（行政の建物という感じはせず、大学のキャンパスのような印象を受けました。）



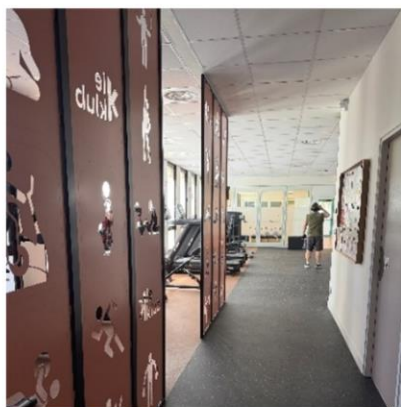
②執務室  
（広々としたスペースや職員の写真が掲載されていることが印象的でした。）



③会議室  
（ゆったりとしたスペースで大きい窓も設けられ、リラックスした雰囲気でした。）



④県庁敷地内屋外交流スペース  
（職員間の会話も弾みそうです。）



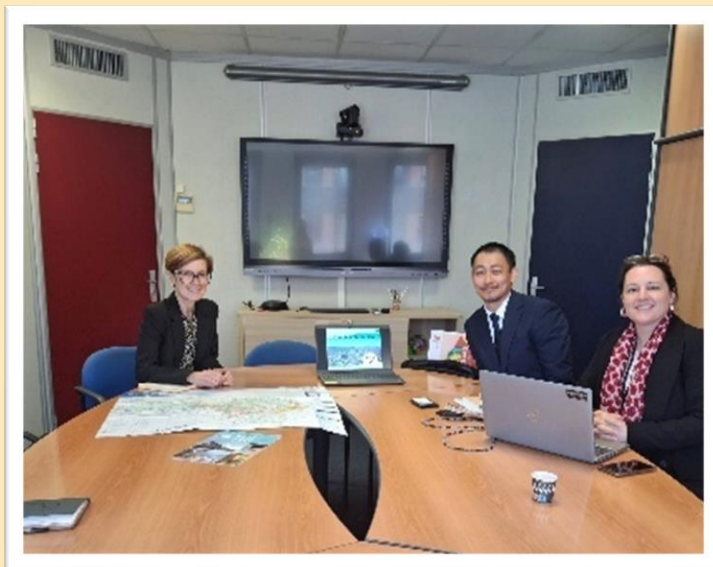
⑤職員用トレーニング室



⑥多目的室  
（職員の会議室でもあります。）

このように職場環境が充実しているのは、フランス地方公務員制度で職場の生活の質 QVT (Qualité de Vie au Travail) (「働きやすさとウェルビーイング」) を高める取組を国家レベルで推進しているためです。ヴァルドワーズ県庁では、職場環境を整えることで、職員採用における応募者を増やす試みを行っています。

今回は、ヴァルドワーズ県の経済振興委員会を訪れ、津市の中小企業との経済連携の可能性を探るために情報収集に行ってきました。ヴァルドワーズ県は大阪府をはじめ、三重県とも経済連携の締結を結び、定期的に交流をしています。今後も引き続き、良好な関係を築きながら、フランスを含むヨーロッパとの連携を希望する津市内の中小企業の橋渡しとなれるように、まずはその第一歩の顔合わせを行いました(写真⑦)。



⑦経済振興委員会での面談の様子

津市はパリ経済開発局(現Choose Paris Region※2)と2012年11月20日「経済分野における交流促進に関する合意書」を締結しています。この合意書は、津市とパリ地域の産業競争力を高めるための経済連携で、中小企業の技術交流・共同開発・新事業の創出の機会をつくることなどを目的としたものです。フランスをはじめとするヨーロッパ企業との連携においては、信頼関係を築くことが重要となってくるため、その一助となれるよう任務に取り組んでいます。

国が違えば、文化や歴史背景はもちろん異なりますが、高齢化や労働人口の減少など、地方自治体が抱えている問題には共通点もたくさんあります。日本の地方自治体との相違点・共通点などを感じながら、パリ事務所職員としての業務のほか、現地ではできない地域の情報収集や連絡・調整などを行っています。また、津市でも取り入れることができたり参考にできたりするような情報をみなさんにお伝えできればと思っています。

※1 JETプログラム(ジェットプログラム) :  
「語学指導等を行う外国青年招致事業(The Japan Exchange and Teaching Programme)」のこと。クレアでは、主に海外の青年を招致し、地方自治体、教育委員会及び全国の小・中学校や高等学校で、国際交流の業務と外国語教育に携わることにより、地域レベルでの国際化を推進することを目的としています。津市の小・中学校にも、このプログラムによる外国語指導助手(ALT)が配置されています!

※2 Choose Paris Region:  
「経済分野における交流促進に関する合意書」の現在の提携先機関。